

幼兒の身體的保護

堀 七 藏

一

幼兒保育の半分の仕事は幼兒の身體の發達を助長することである。幼稚園は幼兒を保育して其の心身を健全に發達せしめ」とある幼稚園令第一條を引用するまでもなく明白なことである。幼兒の身體を健全に發達させることは幼兒の精神を健全に發達させること以上に重要であつても、それ以下でないことはいふまでもない。誠に幼兒の身體を健全に發達させることの重要なことは誰でも皆よく首肯する所である。しかし實際保育に於ては兎角幼兒の身體を健全に發達させることについて努力することが缺ける虞が多い。明白な保育の一大事が案外輕視せられ、忘れられ勝になり易いのが、我が國幼稚園保育の一大通弊ではあるまいか。茲に幼兒の身體を健全に發達させることがやがて幼兒の精神を健全に發達させる所以であるなどと、議論する必要がない。また幼兒の身體を健全に發達させねばならぬ理由を説明するを要せぬ。只幼稚園保育に於て幼兒の身體を健全に發達させる工夫を以何にすべきかを説明すればよ

幼兒の身體を健全に發達させるには第一に幼兒の呼吸に充分の考慮をせねばならぬ。お互に空氣を呼吸することには不注意勝なことが多い。自然に無意識的に呼吸してゐるから、どんなに空氣を呼吸してゐるか、どんなに呼吸すべきか殆ど頓着しないのが常である。

第一に新鮮なる空氣を呼吸せねばならぬといつてゐても、日常新鮮な空氣を呼吸してゐるかといふと大變にあやしい。殊に幼兒は新鮮な空氣を呼吸せねばならぬなどといつてもてんで理解することも出来ず、またその實行にも全く頓着せぬ。それで不清潔な空氣を呼吸して平氣であるし、有毒な空氣を呼吸してゐる場合も少くない。かくれんぼの爲めに塵箱の中に入つてゐたり、便所や押入にかくれることも少くない。また布団をかぶつたり、むしろの下にもぐり込むといふやうなこともある。そんなことがなくとも、閉ぢ込めた室内で盛にはねまはつたり、作業をしてゐるものである。是等はどうしても保母の方に於て注意せねばならぬ重要事である。保育室の廣いことも量必要なことであり、清潔であることも肝要である。脊の低い幼兒が盛に活動する保育室でも遊戯室でも、亦廊下でも便所でも、大人の生活する場所以上に清潔でなくてはならぬ。塵埃がたゞぬやうに床板が適當になつてゐなくてはならぬ。また常に

十分な換氣が行はねばならぬ。多くの幼児が活動する所であるから、十分換氣して常に室内の空氣を新鮮に保たねばならぬ。小學校以上では生徒に窓の開閉をさせることも出来るが、幼稚園では保姆が常に換氣に注意してゐて適當に換氣せねばならぬ。我が國の幼稚園では兎角この換氣が不注意勝になつてゐるのは誠に残念である。換氣の設備が完全になつてゐて、常に自働的に十分な換氣が出来れば理想的であるが、實際は中々左様にも行かぬ。どうしても保姆が注意して換氣を行ふことを忘れてはならぬ。さりとて換氣のために幼児が風邪にかゝるといふやうでも困ることであるが、大體大人の立場から神經的に考へて室内を閉切つて換氣のよく行はれないことが多い。廻轉窓を適當に開閉して寒く冷なる風が直接幼児の身體に當らぬやうに成る工夫をして換氣を十分行ふことが肝要である。

尤も子供は「風の子」といふ位、寒がりではない。また吾々は顔から風邪にかゝることもなく、手足を出してゐたから風をひくといふことも先づない。幼児を無暗に保護するが爲めに、幼児の身體が薄弱になることも三省せねばならぬ。この故に幼児に無暗と厚着をさせたり、手足を包むやうな保育は甚だ面白くない。厚着をして汗だくなつた幼児が多く風をひくに注意せねばならぬ。幼稚園では家庭とよく相談して、幼児の着物に注意せねばならぬ。着物が運動し易く出來てゐることは勿論、成るべく清潔であることも大切であるが、あまり厚着せぬやうに訓練せねばならぬ。薄着のために風をひくことは幼児には殆どないことで風をひく子供は多々家庭で、厚着させるものに起る事實である。

それで、保育は成るべく新鮮な外氣に觸れたところで行はれるやうでなくてはならぬ。雨天のときは仕方がないが、成るべく戸外で保育をするやうにせねばならぬ。あまり炎天の下で無理強ひに外遊びをさせることは勿論よくないが、幼稚園といへば陰氣な遊戯室で、面白くもない遊戯を強制的に行はせたりまた行儀よくして、幼児を腰掛に釘付けにするやう 悪い姿勢にも頓着せず、狭い保育室に閉ぢこめて置いて幼児の自由活動を束縛するが如きことは絶対に禁止せねばならぬ。無理な日光浴もよくないが、毎日幼稚園で室内保育だけをしてゐるやうなことは誠に面白くない。天氣がよければ終日戸外で自由遊びをさせて置く方が却つて保育が行はれるものである。室内でなくば出来ないやう遊戯や作業は雨天の日に配當すればよいのである。無理な時間割を作成して置いて、それに拘泥するが如きは誠に警戒せねばならぬ。

三二

成るべく戸外の自由遊を多くして幼児の身體を健全に發達させるやう積極的に工夫をすることが至極肝要であるが、また幼児が疾病にかゝらぬやう十分保護せねばならぬ。

積極的に幼児の身體を健全に發達させる爲めには新鮮なる空氣を十分呼吸せしめ、十分なる日光に浴せしめて幼児に相當な戸外遊を行はしめねばならぬ。そのためには幼児が上つたり下りたりする小山も

必要である。また石段も欲しい。よぢのぼるための竹や樹木もあればよい。また砂遊びが十分出来るやうに廣い砂場も必要であれば、ブランコなどもなければならぬ。走つても危険でなく、ころんでもけがをせぬ運動場が大變必要である。また水遊びが自由に出来る設備も欲しい。只大人の老婆心で、あれもあぶない、これも危険で、幼児の遊び道具となるものを悉く取のぞくやうなことは禁物である。掃いたやうな奇麗になつたアスファルトの運動場は必ずしも理想ではない。寧ろ砂利が敷いてあり、芝生があり、煉瓦の破片も大きな石もあつた方がよいのである。幼稚園だから小砂利の運動場はいけなないと、頭から決定することは宜しくない。

消極的に幼児が疾病にかゝらぬやうに十分工夫し設備し、また注意せねばならぬ。戶外遊びをなせば手足が著しくよごれる。着物も不潔となる。着物の不潔になるのは家庭とよく連絡して常に清潔を保つやうにせねばならぬ。手足のよごれるのは成るべく幼稚園で簡単に洗滌することが出来るやうに設備せねばならぬ。元來幼児の身體は新陳代謝が盛であるから、大人よりも一層よごれ易い上に外遊びを盛にさせる程手足がよごれるものである。歐米の幼稚園では幼児の家庭に於て入浴することが少いから、バスの設備を是非必要とする。しかし我が國では左程の必要はない。幼児の中に入浴を好まぬものがあるから、保母の方で時々幼児の身體を検査して家庭に注意をする位で結構である。爪が不注意にのびたり耳垢が澤山たまつてゐたり、また頭髮が著しく伸びてゐたり、臭氣を發するが如き場合には家庭に注意

するなり幼稚園や托兒所で適當な方法を講じて常に清潔を保つやうにせねばならぬ。それで一日少くとも一回は幼兒の身體を検するやうにありたいもの。また砂遊びの後は十分手指を洗ふやうに躑けねばならぬ。食事の前には必ず手を洗ふやう、また口中を嗽ぐ設備もせねばならぬ。うすい鹽水で口中を嗽くとよいが、只の清水でもよゝ。

また幼兒が互に手を取り接近したり、接觸して遊ぶのであるから、一人の病氣が全體の幼兒に蔓延することが甚だ多い。この點は幼稚園に於て非常に注意せねばならぬ。急性傳染病ばかりでなく、トラホーム・禿頭病などの如きものにも深く注意して適當な處置をとらねばならぬ。その爲にも幼兒の身體を一日に一回は必ず検査して傳染病の疑があるものは家庭に注意するなり、幼稚園で相當の處置をすることが肝要である。また傳染病にかゝりたる幼兒あらば必ず消毒を怠つてはならぬ。家庭にも幼兒群集の幼稚園なることをよく理解させ、速に相當な手續をなさしめ、多くのものに傳染するが如きことを成るべくさけるやうにせねばならぬ。この點に關しては幼稚園でも家庭でも注意に注意をせねばならぬ。砂遊びがら蛔虫にかゝるものが多いとか、まゝごと遊びから疫痢にかゝるといふが如き事實が少くないし、知らぬ間に流行性感胃が一組に蔓延してゐたり、麻疹で一組に五六人もの缺席者を出すが如きことは幼稚園には珍らない實例である。

幼稚園では幼児の食物並・飲物についての注意は少いやうである。飲食物は多く家庭のことで、普通の幼稚園では家庭に任せて置いてもよい位である。しかし幼児を健全に發達させる爲には非常に注意せねばならず、幼稚園として講究せねばならぬ事柄がある。托兒所などで給食をなすことか、また間食を與へるときは一層重要な問題となるが普通の幼稚園でも幼児の晝食を行はせるときは之に對する適當な注意を必要とする。家庭でも幼児の晝食に注意を拂ふことが多いが、しかし召使のものに幼児のお辨當を準備させる場合が多いため、いろ／＼注意せねばならぬことがある。盛に活動し大に發育せねばならぬ幼児の食物として適當に榮養分を含んで居らねばならぬ。滋養に富んだもので相當分量なくてはならぬ。所がお辨當として汁が出ぬもの、携帯に便なるものといふ條件があるから、中々材料の選定が困難であり、料理法が適切でなくてはならぬ。殊に夏季腐敗し易いとき、また嚴冬冷却せるお辨當を食せしめるときなどにはそれ／＼適當な工夫をせねばならぬ。従つて適當な榮養辨當を幼稚園で供給出来るならばよいが、多くの場合には不能であるから、毎日幼児の食物を檢し、必要に應じて家庭に注意を促すことも起るのである。殊に食器の洗滌不充分なものが多い。お箸がよく洗はれてないとか、湯呑がよごれてゐるとかすることが多いものである。こんな些細な點までも家庭に注意を促がすとか幼稚園で適當

に洗滌する工夫をせねばならぬ。また幼兒、飲む水も、く注意せねならぬ。小使がさし水をしたぬるい湯を吞ませたり、沈澱の多い臭のするやうな湯を與へたり、土瓶や藥罐が著しく不潔であるといふが如きことも有り勝であるから、十分小使を取締らねばならぬ。何事にも頓着せぬ幼兒、不衛生も何もわきまへぬ幼兒の生活であるからこの方面は一切萬事保母が特別な注意を拂はねばならぬ。

五

幼兒が新鮮な空氣を呼吸するやうに心掛けると共に、幼兒が常に鼻孔で空氣を吸入するやうに躡けねばならぬ。これは幼稚園時代に於て非常に大切な躡である。人間は生れると直にお乳をのむ本能をもつてゐるが鼻孔から空氣を吸入する本能がない。呼吸は口だけでも行ふことが出来るから空氣を鼻孔から吸入することは生徒の躡けによつて自然に習慣となるのである。乳房をくはへてゐて呼吸せねばならぬから、鼻孔より空氣を吸入するやうに躡けられ習慣づけられるのが普通であるが、それでも鼻孔を鼻汁で塞ぎ、口で呼吸する幼兒が甚だ多いものである。三十人の幼兒中に口を開いて呼吸してゐるものは少くない。眠るときなどには十人中七八人まで口を開いて呼吸してゐる位である。今更説明するまでもなく呼吸は鼻孔ですべきもので、口で呼吸すべきものではない。無意識的に鼻孔で呼吸すべきものである。所が鼻孔が鼻糞や鼻汁で塞がつてゐるから、自然口で呼吸をするといふのは單に幼兒ばかりではな

い。またアデノイドであつたり、扁桃腺肥大のため、鼻孔で空気を吸入することが困難で、口で呼吸する幼児も少くない。口で呼吸をするが爲に、塵埃の多い空気が、新鮮な空気が、また乾燥した寒冷な空気を吸入して咽頭や喉頭にカタルを起し、扁桃腺肥大を來し、發熱したり感冒にかゝり、また氣管支カタルなどを起すことが多いのである。鼻汁をたらしめてゐることは單に不體裁だといふだけではない。實に鼻孔で空気を吸入せず専ら口で呼吸する爲に、いろ／＼の呼吸器病にかゝり、またかゝり易いからである。何時でも鼻孔がよ／＼通つてゐて、呼吸が鼻孔で無意識に行はれるやう小さなときより躰けねばならぬ。そのためよく鼻汁をかみ、鼻孔をよく拭つて深呼吸を行はしめて、呼吸が常に鼻で無意識的に行はれるやうに習慣づけねばならぬ。幼稚園保育に於て鼻から呼吸するやうに訓練することは非常に肝要なことである。兎角不注意勝になり易いことで、鼻汁たらしは幼児の異名のやうになつてゐることは保母として誠に恥づべきことである。受持幼児にはなたらしが一人でもあるのはその保母の恥とせねばならぬ。

六

幼稚園保育に於ても注意すべきは幼児の睡眠休息の問題である。幼児は盛に活動するから疲れることも著しい。尤も幼児の自由活動に任せて置くと疲れると休み、興味が次から次と轉換せられ、従つてい

る／＼の筋肉を使用してゐる、ら八ヶましく休息をさせる必要は少い。けれども入園後間もない幼児などで見ると、入園前と著しく睡眠状態が異なる。夜遅くまで起きてゐて朝寝した幼児でも、入園後は日の活動で疲れて夕方早く寝に就く。甚だしきは夕食中にふら／＼する位である。そして熟睡するので朝も早く起るやうになるものである。寝不足で幼稚園へ来た幼児は機嫌が悪く、駄々をこねることが多いから、かゝる幼児には休息させ、場合によつて睡眠させる方がよい。それがため静かな一室に簡単な寝臺を置いて睡眠させる工夫が出来る。また保育室に寝臺椅子を用意して置き、必要に応じて幼児に休息させるがよい。また晝食後暫く休息させるため簡単な寝臺を用意することが出来る。と申分がない

七

身體検査といへば身長體重などを測定して統計することだけと考へるのはよくない。身長、體重等、幼児の身體状況を觀察することも肝要である。しかし一年一回幼児の身體検査を義務的にしただけでは足りない。既に述べた如く保姆は毎日幼児の身體を簡単に検査して不清潔なことのないやうに、不衛生な行爲が行はれないやうに注意せねばならぬ。頭髮、眼、耳、鼻、口中、手指等が常に清潔に保たれ、その上にそれ／＼十分練磨せられるやうでなくてはならぬ。必要に應じては家庭と共同して幼児の健康増進のため適切なる方法を講ぜねばならぬ。母の會とか保護會とかを利用して幼児の身體保護のため十

分施設することが肝要である。また一年一回の身體検査でも個々の幼兒について十分個別的な注意をなし、各幼兒の身體が健全に發達するやうにせねばならぬ。

一體保姆といふ言葉は英語のナースを幼稚園創設當時譯したものである。ナースには看護婦といふ意味を多分に含み、英國などではナースが幼兒の看護について十分醫學的修養をなし、實際保育に於ても幼兒の身體的方面に多大な努力をなし、保育の殆ど全般を通じてナースとして活動する位である。それで幼稚園や保育學校はナースが幼兒保育の全般を擔當することが出来る。小學校以上になると教師の外にスクールナース即ち學校看護婦があつて生徒の身體的保護を擔當する。體操競技等によつて生徒の身體が積極的に發達する方面を擔當するに對しスクールナースは消極的に身體的保護衛生的な方面を擔當して生徒の健なる發達を助長するのである。しかし幼稚園保育は身體を健全に發達させることが主要な任務であるからナースが全班を擧げて擔當するのである。我が國に於ても從來より一層幼兒の身體的保護に努力せねばならぬ。